

Z世代に向けた出前授業

農政への理解醸成を目的に、学生に対し出前授業を行い、農業の現状・将来像について関心を持ち考えるきっかけ作り、行動変容を目指した。

○ 施策分類

その他（その他）

○ きっかけ・背景、課題の把握

農業者が高齢化し激減するなか、将来を担うZ世代への理解促進と関心喚起を目的に、令和6年度から出前授業を積極的に展開。

○ 取組の内容

- ・ 県内全ての農業高校・大学での開催を目標とし、働きかけや事前打合せを行い、各校のニーズに沿った授業を実施。
- ・ 授業構成は、①農林水産省の紹介②農業の現状③グループディスカッション④政策説明。
- ・ おおいた「みどり戦略」オフィシャルインフルエンサー※と連携しワークショップ等を実施。

※ 県拠点独自取組で、「みどり戦略」のSNS発信を委嘱した農業者等。

○ 効果・成果、今後の方向性

- ・ 上記 ③では「農水省職員ならどんな政策を提案するか」など、学生の主体性を引き出すをテーマとし、活発な意見が出され、授業後アンケートは総じて好評であった。
- ・ 拠点を訪問し研究成果をプレゼンする学生や、農政局のインターンシップ研修へ参加した学生もみられ、キャリア形成へ貢献。
- ・ 先生方からは「来年も継続してほしい」との意見が大半。また、TVや新聞での報道もあり、農業・食育の重要性を地域発信。
- ・ 今後は食物係専門学校など、さらに取組を広げたい。



【グループディスカッション】



【インフルエンサーによるワークショップ】



【学生が職員へプレゼン】



【NHK大分のニュース】

体制図

